



卒業生の皆さまへ

システム工学部学部長の宗森純でございます。
昨年4月から学部長を拝命しております（2期目）。
立秋の候、卒業生の皆さまにおかれましては未曾有
の災禍の中ご苦労はいかほどかと拝察致します。

さて、本学におきましても、本年度からクォーター制が始まりましたが、
コロナウィルスの影響で第1クォーターが始まったのは5月7日からでした。
授業は基本的に対面ではなく遠隔で行なっています。音声付きのプレゼン
テーションソフトをダウンロードして聞く授業が主流です。遠隔の授業
は、準備が大変ですが、質問がよく来るようになりました。ゼミも遠隔で
行なっています。いろいろな会議アプリに四苦八苦しながら行なっていま
す。今のところ、サーバが落ちるなどの問題は生じていません。6月から
は、まず、博士3年、修士2年、学部4年に限っては博士論文、修士論文、
卒業論文のために登校できるようになり、その後、4年生以上は研究の
ために登校できるようになりました。大学は3密を避けるため、部屋の定員
を、ソーシャルディスタンスをとれるように決めるなどの対策を行なっ
ています。今のところ、研究室は密な状態にはなっていません。また、建物
の入り口や各階にアルコールの消毒液を設置しました。価格が高騰して入
手が難しかった消毒用アルコール（中野BC製他）などを同窓会と後援会か
らご支援いただきましたこと、深く感謝いたします。第2クォーターから
は対面の実習や演習が始まりましたが、授業は遠隔で続けられています。

2004年に和歌山大学が国立大学法人となってから、6年間の中期目標・
中期計画が定められ、これをもとに大学が評価されるようになりました。
現在、第3 期中期目標・計画（平成28年度～令和3年度）(https://www.wakayama-u.ac.jp/about/public/public_org/) の5年目です。昨年の
10月7日と8日に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の認証評価の





訪問調査を受けました。これは、7年以内ごとに受ける評価で今回3回目です。評価の結果、全学で大学評価基準を構成する27の基準をすべて満たしていると評価されました。

システム工学部においては、「ダブルメジャー制を採用しており、学生は第1メジャー、第2メジャーの2つのメジャーを選択することによって、従来の学科の枠を超えた幅広い分野で貢献できる人材を育てることができている。」と評価されました。また、システム工学研究科においては「研究指導の単位として教育研究クラスタを設けている。クラスタは、異なる分野でも共通の研究目標を持つ教員と学生で構成されており、社会ニーズが高く、次世代技術のキーとなる領域を対象とした変更自在なグループであり、クラスタでの教育研究活動をととして学生のシステム工学エンジニアとしての高度の専門性を養成している。」と評価されました。これもひとえに、卒業生の皆さまの作りあげてきた伝統がシステム工学部およびシステム工学研究科に受け継がれているからでしょう。

システム工学部は、先にも述べましたが1学科10メジャーのダブルメジャー制となっており、求人数が1万9千件に近く、就職状況も引き続き好調です。中には情報と建築を学んで近畿地方の県の土木職についた学生も誕生しました。大学院への進学率もあと少しで50%（47.5%）に達します。これも卒業生の皆様の社会でのご活躍のお陰であると思っております。今後ともご支援をお願いいたします。

和歌山の玄関口である和歌山市駅はキーノ和歌山が6月5日にオープンしました。市民図書館を核とした駅ビルですが、ホテルや地ビールが有名な酒造メーカーのアンテナショップや、和歌山名物のアイスクリームやラーメンを売っている店などが出店しています。和歌山にお越しの際の楽しみが増えると思います。

最後に、一日も早い新型コロナの終息と、皆さまのご健康をお祈り申し上げます。

システム工学部長 宗森 純



×

—

□

教員異動のお知らせ

今年の3月で、電気電子工学メジャー（旧・光メカトロニクス学科）の土谷茂樹教授が定年を迎えられました。

TOPICS



「有田みかんグミ」のパッケージデザインを行いました！



システム工学研究科 博士前期課程1年 デザイン科学クラスタ 杉田 美琴さん

昔から絵を描くのが好きで、情報系の分野にも興味があったので、デザインとプログラミングの両方を学べるメディアデザインメジャーに所属しました。研究では、イルカ介在活動を、ハンドジェスチャを使って仮想現実空間で体験できるシステムの開発を行っています。

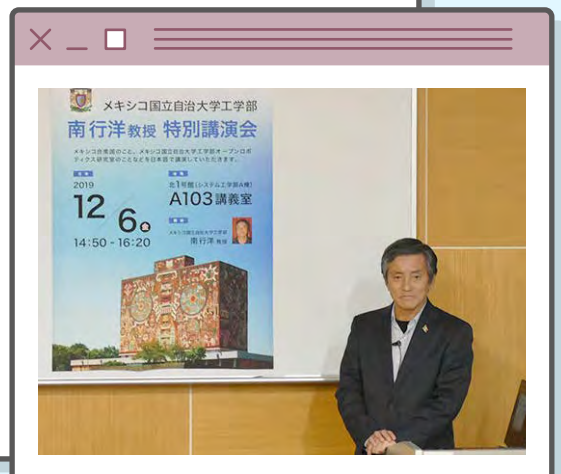
UHA味覚糖さんから、有田みかんを使った新しいグミのパッケージデザインの依頼を受け、デザインを制作させていただきました。デザインを手がかりなしに考えるのではなく、研究室のメンバーと既存のパッケージデザインを調査・分析し、制作するデザインの方角性を決めました。その後、研究室のメンバー7人でデザインコンペを行った結果、私が制作したデザインが選ばれました。有田みかんならではの剥き方である「有田むき」のイラストを大きく取り入れた点が評価されたと考えています。また、和歌山大学の広報も意識し、裏面には和歌山大学のマスコットキャラクターである「わだにゃん」を登場させました。

自分たちでデザインを考えた商品が実際に販売されるという、とても貴重な体験をすることができました。制作に時間をかけた分、発売日を迎えられたときはとても嬉しかったです。



メキシコ国立自治大学 南行洋教授が訪問されました

メキシコ国立自治大学の南行洋教授が2019年12月2日から10日までシステム工学部を訪問されました。先生は教育工学や移動ロボットがご専門で、サバティカルを利用した日本の工学教育や移動ロボットの調査の一環として訪問されました。訪問期間中、システム工学部の講義を多数見学されました。ほぼ毎日1時限から5時限まで精力的にノートを取りながら見学されていたので、見学される側（教員や学生）にとって刺激になったのではないのでしょうか。滞在中に「特別講演」と銘打って、メキシコ合衆国のこと、メキシコ国立自治大学工学部のこと、南先生の研究室（オープンロボティクス研究室）のことなどを多数のスライドとともに講演いただきました。南先生が作製された力学の教材や移動ロボットの動画はもちろん、メキシコの有名な観光地の動画も見せていただきました。学生や教員から多数の質問もあり、質問から新たな話題に発展するなど、非常に刺激的で楽しい充実した時間を過ごすことができました。



システム工学部同窓会「@sys」からのお知らせ

平成21年より毎年開催しております「システム工学部同窓会」ですが、昨年は初めて大阪で開催し大変ご好評をいただきました。

昨年の様子 (<https://www.wadaisys-dousou.net/event#dousou2019osaka>)

今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、見送りを考えております。

同窓会役員メンバーも新体制での初年度となり、新しい気持ちで新しいイベントができる様に色々と模索しておりました。昨年度までの様な集まって交流を持つ形式のイベントは出来ませんが、同窓会としての活動は止めるつもりはありません。各活動への支援や同窓会としての皆さんとの交流の模索は続けて行きますので、引き続き同窓会へのご参加をよろしくお願いいたします。

活動の情報展開は引き続き同窓会のホームページ、生涯アカウントを使い発信を続けて参ります。ご意見、要望等もお受けしますので同窓会のホームページ内、お問い合わせ欄をご活用ください。

和歌山大学システム工学部同窓会ホームページ

▶▶ <https://www.wadaisys-dousou.net/>

同窓会より、新型コロナウイルス感染症拡大防止への取組として、手指消毒用エタノールをシステム工学部に支援しています。



生涯アカウント未登録の方へ

平成27年度より正式開始しました「生涯アカウントサービス」は、新入生への配付も始まり、卒業生・在校生・教職員合わせて3,500名を超える方々にご活用いただいております。

本サービスは、特典として容量無制限のクラウドストレージが利用可能であり、また卒業生向け卒業証明書、成績証明書の無料送付などのメンバーサービスもございます。

まだ生涯アカウントをお持ちでない方は、この機会にぜひご登録・ご活用いただきたいと考えておりますので、詳細等につきましては、下記URLからご覧ください。

和歌山大学システム工学部 生涯アカウントポータルサイト

▶▶ <https://g.wakayama-u.jp/>

和歌山大学システム工学部 生涯アカウントポータルサイト

Wakayama-univ. Alumni Open Network (WAON)

もう一度、大学の仲間と繋がりませんか？

生涯アカウントで仲の良かった友人や先輩・後輩、お世話になった先生方と連絡を取ることができます

アカウントを登録

ログイン

アンケートへの回答にご協力ください

システム工学部・システム工学研究科では、主に社会に出てから5年以上の卒業・修了された方を対象に、今後の教育に役立てるため、アンケートを実施しています。ウェブ上でご回答いただけます。どうかご協力ください。

■ アンケートフォーム → <https://www.wakayama-u.ac.jp/sys/questionnaire/96/>

知能情報学メジャー ネットワーク情報学メジャー

旧・情報通信システム学科

学部長補佐より（知能情報学・ネットワーク情報学メジャー 担当）

2020年はリモート元年と呼ばれ、職場、学校、イベントなど、あらゆる場面でオンライン化が進みました。今日、ICTは日常生活におけるインフラとして必要不可欠なものになり、第5世代移動通信システム(5G)のサービス開始とあいまって、情報通信分野のさらなる発展が期待されるところです。卒業生の皆さんには、これからのICT社会において中心的役割を担われ、次世代の新しい技術開発に貢献されることを期待しています。

教授 坂間 千秋



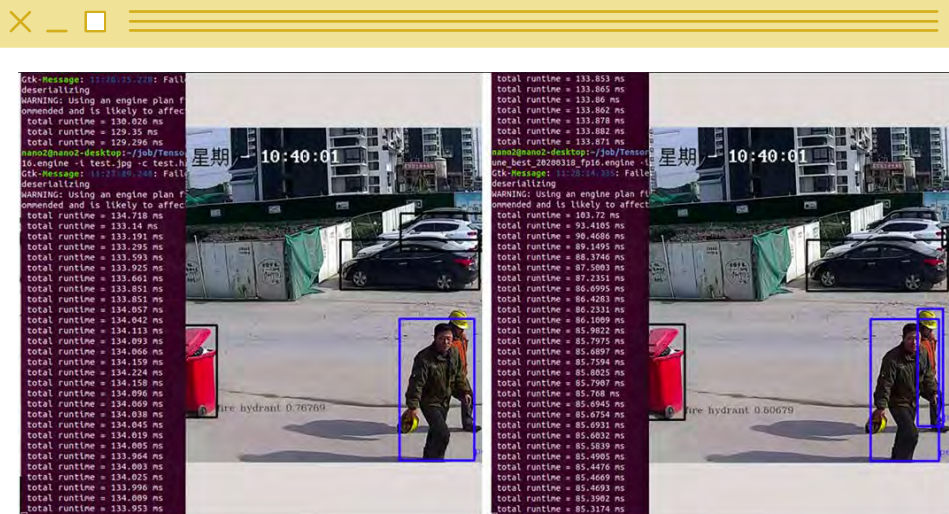
オンラインゼミの様子

和田研究室の近況報告

最近、主に学習済みのDeep Neural Network(DNN)を、組み込み用の貧弱なハードウェア上で動作させるために、精度を落とさずに計算量や使用メモリ量を削減する研究に取り組んでいます。これは博士3年の菅間君の研究テーマであり、ICARでのベストペーパーなどの成果が得られています。①ニューロンやチャンネルを削減

しても再学習無しで、性能低下が抑えられる手法、②分岐構造を含むDNNの分岐を消し、圧縮できる箇所を増やす手法、③どの層をどれだけ削れば良いかを自動決定する手法、を開発し、それらによって、物体検出用ネットワークの性能を落とさずエッジデバイス上で高速に動作させることに成功しています。

教授 和田 俊和



Resnet34をバックボーンに用いたCenterNetによる対象検出 (133~134ms/frame)

左のCenterNetをSRNによって圧縮した対象検出 (85~87ms/frame)

Nvidia 社 JetsonNano 上での対象検出実行速度の比較

Webマイニング研究室の近況報告

当研究室は2012年10月に発足し、そろそろ9年目に入ります。現在の研究テーマはソーシャルメディア分析、学術情報処理、食情報処理で、昨年度は4名が学会で受賞しました。

図に示したシステムでは、検索・閲覧履歴やTwitter上の発言・行動から求めた独自の論文評価指標でCiNii Articlesの論文の検索結果を順位付けし直すと共に、さまざまな分析ができます。この例では、論文が多くの人に閲覧された理由は、著者が有名アイドルグループのメンバーということがTwitter上でバズったからであることを示しています。

近くに出張・帰省したり、博士課程への進学希望の相談がある場合は、気軽に声を掛けてください。

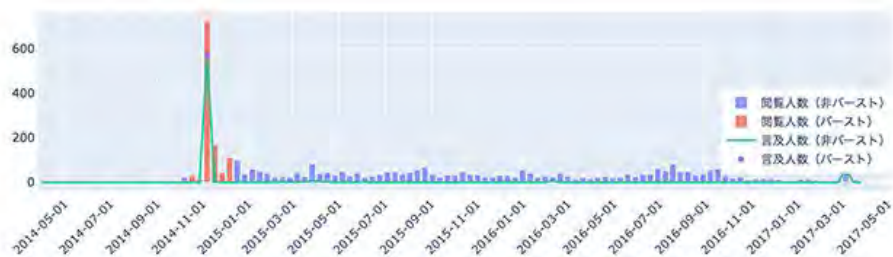
教授 風間 一洋

2777 0.0730236 592 0.00603396 kw_burst author access_burst:6 mention_burst 7336 津波避難に係る学校施設の整備のあり方：津波被害のあった小中学校の避難に係る事例検証を通して(避難計画と避難施設,都市計画,2013年度日本建築学会大会(北海道)学術講演会・建築デザイン発表会)

著者 '伊野尾 慧', '大村 信望', '亀井 一得', '山本 俊哉'
出版年 2013-08-30
キーワード '東日本大震災', '中学校', '小学校', '津波', '避難', '安全'
系・分野 人文社会系 社会科学

内容指定語 伊野尾 慧 伊野尾 大学院 明治大学 論文
分類指定語 論文, 建築, 研究, 大学, 日本

アクセス数の推移 (アクセスのバースト時期はオレンジ色で表示されます)



機械電子制御メジャー 電気電子工学メジャー

旧・光メカトロニクス学科



学部長補佐より（機械電子制御・電気電子工学メジャー 担当）



卒業生の皆さん、こんにちは。
今般の新型コロナウイルスの影響を受ける中、いかがお過ごしですか。大学の方は、緊急事態宣言が解除されたのち、遠隔授業は継続されていますが、大学設備を使つての研究活動が再開され、ようやく活気を取り戻しつつあります。また、このような逆境の中でも、両メジャー（特に大学院生）の就職状況が順調であることは喜ばしい限りです。

まずは、お知らせから。今年度から、電子計測

（EM）メジャーが、電気電子工学（EE）メジャーに名称が変更となりました。また、あとにもごさいますように、この3月末に土谷教授が定年退職されました。このように、旧光メカトロニクス学科当時と比べ年々寂しくなってきましたが、我々教員スタッフは質を落とすこと無く教育・研究に励んでおりますのでご安心下さい。

新型コロナウイルスの影響が収まるまでしばらくはかかりそうです。皆様におかれましても、大変な時期だとは存じますが、くれぐれもご自愛の上、ご活躍されることお祈り致しております。

教授 村田 頼信

土谷先生より

今年3月末で定年退職いたしました。企業から新設間もないシステム工学部に赴任し23年半有意義に過ごさせていただきました。退職前は中小企業支援NPOの活動に参加するつもりでしたが、新型コロナの影響でまだ休止中です。今はこれまでなかなか読めなかった本を読んだり、健康のため近くの郡山城や大和民俗公園などを毎日1時間程度歩行したりと、次の活動に備えています。施設やイベントが徐々に再開されつつありますので、注意しながら参加するつもりです。和歌山大学の関係者や卒業生の皆さんも従来の生活、就業パターンを

大きく変更せざるを得なかったと思います。この機会をうまく生かし、これまで以上に飛躍されることを祈念しています。

土谷 茂樹



2019年度研究室卒業生との記念写真

中嶋先生の近況報告

今年の3月から1年間、日本学術振興会の国際共同研究加速基金という制度を活用してスイス連邦工科大学チューリッヒ校（ETH Zurich、図1）にて在外研究を行っています。研究目的は「パーソナルモビリティに搭乗者の状態の情報を取り入れることで、より安全な機械の開発につなげる」ことです。コロナウイルスの影響はまさに世界共通で、物理的そして精神的なハードルがつきまとう船出となりましたが、研究室のセミナー（図2、人同士の十分な間隔を確保）では、ドクターの学生と教授との活発なやりとりを目の当たりにし、相当な刺激を受けました。教育研究機関としての和歌山大学の発展にどのようにつながられるのか、考えさせられています。

教授 中嶋 秀朗



図1. ETH Zurich



図2. 研究室のセミナー

材料工学メジャー 化学メジャー

旧・精密物質学科

学部長補佐より（材料工学・化学メジャー 担当）



卒業生の皆様こんにちは、
今年は新型コロナウイルス感染症への対策でいろいろと大変ですが、無事にお過ごしでしょうか。

材料工学・化学両メジャーの研究活動も一時ストップしていましたが、6月1日から一部の学生の登学が可能になり、感染症対策をしな

がら徐々に再開しています。就職活動へも大きく影響しましたがweb面接などが実施されて、例年より1ヶ月遅れぐらいの感じですが、なんとか順調に進んでいます。

これからも影響は続くと思いますので、皆様も充分に気をつけてこの大変な時期を乗り越えてください。

教授 田中 一郎

尾崎研究室の近況報告

材料工学メジャー（旧精密物質学科、応用物理学メジャー）の尾崎です。和歌山大学に赴任して早や10年が経過し、現在までに学部卒30名、修士卒19名の学生さんの研究指導をさせていただきました。皆さんのおかげで様々な研究に挑戦し、数多くの成果を上げることができて、とても充実した時間を共有してこられたことに本当に心から感謝しています。これからも多くの学生さんと楽しく充実した研究生生活を過ごせていけるよう、ますます頑張っていきたいと思っています。我々は相変わらず半導体結晶工学や、光デバイス、光イメージングなどを研究していますが、最近ようやく研究成果の社会実装が見えてきたところです。ぜひ頑張っている後輩たちの様子を見に、研究室にお気軽に遊びに来てもらえればと思います。皆様の益々のご活躍とご健勝をお祈りしております。

准教授 尾崎 信彦



ソフトマテリアル設計研究グループの近況報告

卒業生の皆さん、お元気でご活躍のことと思います。新型コロナウイルス感染症の影響で7月中旬になってやっと研究も軌道に乗り始めたところです。今年は研究室から久々に大学院博士後期課程に1名が内部進学し、M2は2名、M1は5名、それに4年生の7名もほとんどが大学院を志望しているので、大須賀先生と共に、彼らのこれからの活躍を楽しみにしています。卒業生の皆さんも機会を見つけて研究室に立ち寄り、近況をお聞かせ下さい。

教授 坂本 英文



環境科学メジャー 環境デザインメジャー

旧・環境システム学科

学部長補佐より（環境科学・環境デザインメジャー担当）

引き続き2020年度の学部長補佐（旧学科長）を務めている、教員の井伊博行です。

卒業生の皆さんには、お元気でご活躍のことと思います。大学は、4月からはコロナ問題で、様相は全く変わりました。ほとんどの授業がオンラインになり、構内で学生はほとんど見られません。学生の通学も制限され、実験実習を行うのに、許可申請が必要で、また、授業方法にも制約があります。現在のところ、和歌山大学から、学生、教員の感染者は出ていません。また、国際連携部門の部門長も兼ねており、海外へ派遣、留学生の受け入れも大きく制限され困っています。環境科学メジャーでは、チャーター便で、4年生のモンゴルの留学生は5月に入国でき（3月に一時帰国していた）、卒業生（3月に卒業）のモンゴルからの留学生は、3月に移動できず、6月にやっと帰国できました。一方、4月からモンゴルから来る予定だった

編入生3人（新3年生）は、未だに、モンゴルでオンラインの授業を受けています。最近は、オンライン留学という言葉が頻繁に使われるようになっていきます（今年度の留学生の派遣、受け入れは、移動なしのオンライン授業）。このままでは、本当にオンライン留学になってしまいます。コロナ騒ぎが一段落しても、オンライン化やテレワーク化が進むでしょう。ようやく国内での移動の制限はなくなりましたが（野外調査が可能になりました）、海外への移動は、当分難しく、海外調査はできそうにありません。しかしながら、対面、オンラインでできない実習（野外調査）、海外へ留学は、成長する上で必要な要素を含んでおり、一人一人が積極的に取り組んでほしいです。

教授 井伊 博行



豪州ディキン大学 ジョン名誉准教授とのアンチモニー汚染地域での調査風景
（写真後方の石の山にアンチモニー鉱物が含まれており、粉塵として、飲料水用の雨水トラップ（屋根からの水を集める）を汚染する）

設計製図の遠隔授業

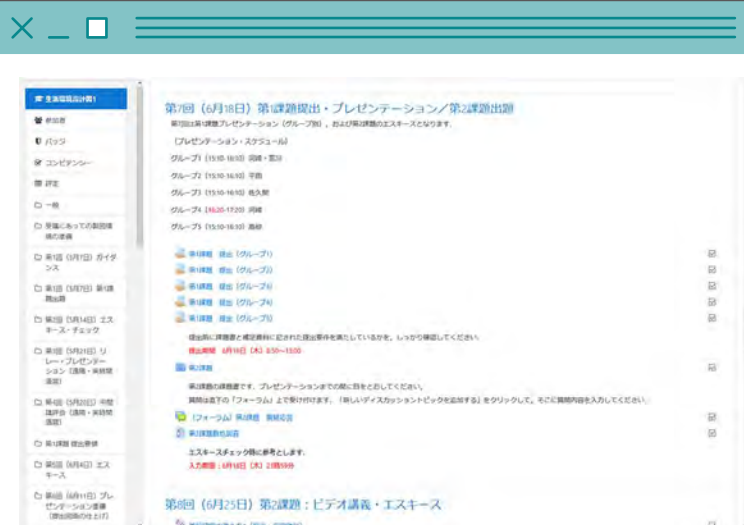
新型コロナウイルスの影響で、5月連休明けより設計製図（生活環境設計製図1）を遠隔授業として実施しています。通学が制限されたことで、確保が課題となった作業環境は、CADや3Dモデリング・ソフトを利用する等しながら、履修者それぞれが自宅等に整えました。

各回の進捗確認や、作品提出はオンライン化しました。制作期間の中頃、そして作品提出後に設けられた講評会はビデオ会議システムを利用しました。途中、アイデアの相互参照を目的に、提出物のオンライン共有も行いました。

こうして6月下旬、無事に第1課題が終わりました。今、遠隔と対面で第2課題

が進む中、よく言われるように、教室の単純な代替や一過性の対応ではない遠隔授業となるよう、メリットの活かし方、またデメリットの解消を模索しています。

准教授 河崎 昌之



ウェブ上に設けられた設計製図演習（生活環境設計製図1）

最近の研究と研究室

2016年に着任して早4年、最近では、災害ごみの適切な処理を支援するシステムの開発と、数値シミュレーターを用いた流出する富栄養化物質の動態解析に取り組んでいます。両研究ともに、私が着任した時に開始したのですが、人工知

能(AI)の活用や数値シミュレーションの日本全国への展開などが実施され、当時蒔いた種の芽が出てきたかな、と感じます。これらの研究を研究室所属学生とともにしながら、皆で苦労しながらも研究・開発・発表に取り組んでいます。今年度は研究室に来ての研究開発はやりにくい部分がありますが、特に開発系の研究は、Web会議システムを用いて活発に行っています。写真は2019年の河川水質観測の様子です。

助教 田内 裕人



メディアデザインメジャー 社会情報学メジャー 旧・デザイン情報学科



学部長補佐より（メディアデザイン・社会情報学メジャー 担当）

メジャー制へ順調に移行と思っていたら、新型コロナで一変しました。ここに写真を掲載するつもりだったメジャー配属歓迎会も見通しが立ちません。講義は急速にオンライン化されました。この事態に、情報教育の全学展開に向けた大学の取り組みが役立ちました。システム工学部の情報系が大きく関わっており、旧デザイン情報からも人材協力されています。世界中が大変な状況ですが、問題把握と対応の柔軟性が、皆さんと私たちが持つ特徴だと思います。皆さんの活躍に期待しています。写真は、昨年度のSIメジャーの配属歓迎会の様子です。

（MDメジャーは昨年度のリーフレットをご覧ください）

教授 今井 敏行



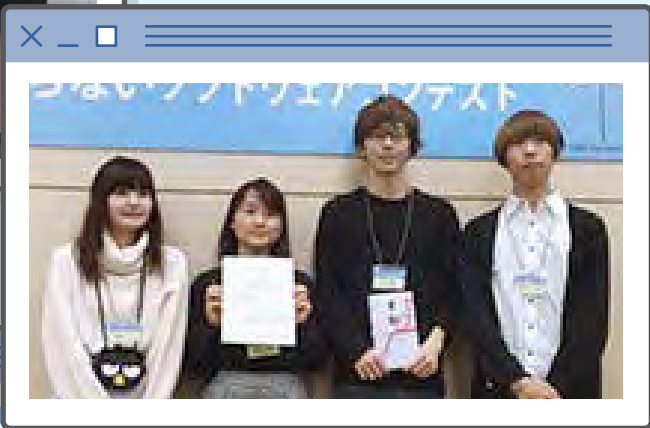
2019年度2年生SIメジャー配属歓迎会の様子



לוי כח

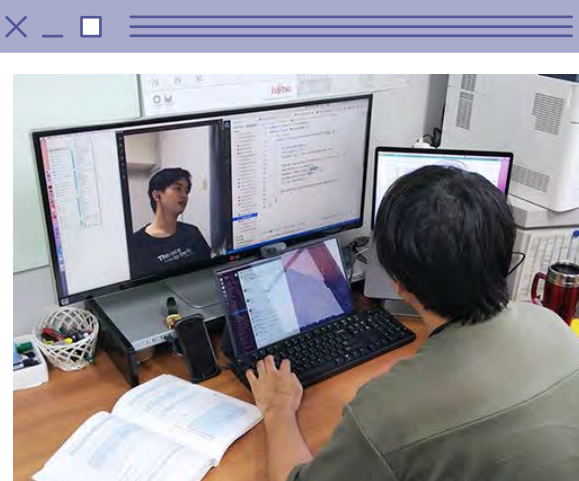
実質に遅れたい。後でね。

图 1-2-10 图 1-2-11 图 1-2-12

[illegible]

新しく始まった「基礎プログラミング演習」の オンラインプログラムレビュー

社会情報学メジャーでは、2020年度から学部2年生向けの演習科目として「基礎プログラミング演習」を新たに開講しました。この科目では事前課題としてプログラムを作成します。授業時間中は教員とTAから、あらかじめ書いたプログラムのレビューを受けて改善します。これまで多くの演習を通して、プログラミングの「量」を中心に力をつけてきましたが、今後は質の高いプログラム開発について、早い段階から意識付けを行い実践します。写真は、新型コロナウイルス対応のため、遠隔でコードレビューを行っている伊原先生とTAの様子です。



遠隔講義の撮影風景

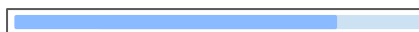
ソフトウェアデザイン研究室に、撮影用のスタジオが開設されました。新型コロナウイルスに対応するため、遠隔講義のコンテンツ収録やリアルタイム配信、あるいは

バーチャルオープンキャンパスのための映像制作などに大活躍しています。写真は、バーチャルオープンキャンパス撮影中の吉野先生の様子です。





愛知県、アイテック(株)、(株)アウトソーシングテクノロジー、旭精工(株)、(株)アスパーク、アズマ
ハウス(株)、(株)アテック、(株)アルトナー、生駒市、和泉市、(株)一条工務店、(株)伊藤農園、(株)伊予銀行、
(株)インテック、(株)エイジェックキャリア、SCSK(株)、(株)えすと、エヌ・ティ・ティ・システム開発(株)、
NECソリューションイノベータ(株)、(株)NSソリューションズ関西、(株)NJS、(株)エヌ・ティ・ティ・
データ、(株)NTTデータMSE、(株)NTTファシリティーズ、(株)オーエ、大阪市、大阪府、(株)大林組、
(株)オネスト、(株)オリエンタルコンサルタンツ、(株)加地テック、(株)片岡製作所、カナテック(株)、
関西設計(株)、関西電力(株)、(株)関電システムズ、関電ファシリティーズ(株)、キーウェア西日本(株)、
(株)木内計測、キクロン(株)、紀州技研工業(株)、(株)木の家専門店 谷口工務店、紀の里農業協同組合、
紀陽情報システム(株)、(株)きんでん、(株)熊谷組、グローリー(株)、(株)コア、厚生労働省、厚生
労働省 和歌山労働局、(株)鴻池組、光洋サーモシステム(株)、コーデンシ(株)、国際航業(株)、国土
交通省近畿地方整備局、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター、寿精版印刷(株)、
コバック岩出店、財務省(大阪税関本関)、堺市、佐竹食品(株)、(株)CAC オルビス、(株)ジークス、(株)ジー
シー、自営業(農業)、(株)シティ・コム、(株)島精機製作所、社会保険診療報酬支払基金、(株)修成
建設コンサルタント、ショーボンド建設(株)、(株)スイタ情報システム、スミセイ情報システム(株)、
住友重機械ギヤボックス(株)、住友電工情報システム(株)、(株)ソリューションジャパン、大成建設(株)、
大和ハウス工業(株)、大和ライフネクスト(株)、高砂熱学工業(株)、タカラスタンダード(株)、
(株)竹中土木、中央コンサルタンツ(株)、中央復建コンサルタンツ(株)、(株)長大、(株)ティーネットジャ
パン、DXC Technology、(株)テラスホールディングス、(株)デンソーパワートレインテクノロジーズ、
東洋ハイテック(株)、(株)ドコモCS関西、凸版印刷(株)、TONE(株)、トランスコスモス(株)、中日
本建設コンサルタント(株)、ナカバヤシ(株)、(株)浪速技研コンサルタント、奈良県、西日本電信電話(株)、
日鉄パイプライン&エンジニアリング(株)、日本電通(株)、日本アイ・ビー・エム(株)、日本オフィス・
システム(株)、日本国土開発(株)、パーソルプロセス&テクノロジー(株)、(株)ハイレックスコー
ポレーション、(株)長谷工コーポレーション、(株)パトライト、パナソニックデバイスシステム
テクノ(株)、(株)Bee、ビジネスシステムサービス(株)、(株)日比谷リソースプランニング、兵庫県警察、
(株)フィードフォース、フェンリル(株)、富士通ITマネジメントパートナー(株)、(株)富士通エフサス、
不二熱学工業(株)、(株)フルスピード、北斗工業エンジニアリング(株)、ホシデン(株)、ホソカワミ
クロン(株)、三重県、三菱電機コントロールソフトウェア(株)、三菱電機特機システム(株)、(株)村
田製作所、(株)メイテック、(株)メクゼス、(株)ReR 建築事務所、林野庁、(株)ワオ・コーポレーション、
和歌山県、和歌山市



downloading...





(株)アウトソーシングテクノロジー、(株)ACCESS、芦森工業(株)、アステック(株)、(株)イシダ、(株)伊藤農園、
(株)インターネットイニシアティブ、エスオーエンジニアリング(株)、(株)エスケーエレクトロニクス、
SCSK(株)、エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)、エヌ・ティ・ティ・システム開発(株)、NECディスプレイ
ソリューションズ(株)、NTTコミュニケーションズ(株)、(株)NTTファシリティーズ、(株)オーグス総研、
沖電気工業(株)、オムロンリレーアンドデバイス(株)、加門農園、(株)関電エネルギーソリューション、
(株)関電システムズ、キャノン(株)、キャロルシステム(株)、京セラコミュニケーションシステム(株)、
京セラドキュメントソリューションズ(株)、クボタ環境サービス(株)、(株)クボタケミックス、(株)クリハラント、
グローリー(株)、光洋機械工業(株)、(株)小松原、(株)サイバーエージェント、(株)サイバーリンクス、
サントリーシステムテクノロジー(株)、(株)JVC ケンウッド、シャープ(株)、新コスモス電機(株)、(株)瑞光、
(株)SCREENホールディングス、(株)SCREENセミコンダクターソリューションズ、スミセイ情報システム(株)、
セイカ(株)、 センターフィールド(株)、 ソニー(株)、 ソフトバンク(株)、 第一稀元素化学工業(株)、
ダイハツ工業(株)、玉野総合コンサルタント(株)、(株)対馬造園店、(株)椿本チエイン、TOA(株)、(株)ティー
ネットジャパン、(株)ディスコ、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、寺崎電気産業(株)、
(株)デンソー、(株)デンソーウェーブ、(株)デンソーテン、東京コンピュータサービス(株)、(株)東芝、
東洋建設(株)、(株)トーセ、TOWA(株)、ナブテスコ(株)、南海電気鉄道(株)、西日本電信電話(株)、西日
本旅客鉄道(株)、日清食品ホールディングス(株)、日鉄テクノロジー(株)、日東電工(株)、日本電気硝子(株)、
(株)ニトリ、(株)野村総合研究所、(株)長谷工コーポレーション、パナソニック(株)、パナソニックアド
バンストテクノロジー(株)、パナソニックインフォメーションシステムズ(株)、浜松ホトニクス(株)、
(株)バンダイナムコスタジオ、バンドー化学(株)、(株)日立システムズ、(株)日立製作所、日立造船(株)、
(株)日比谷コンピュータシステム、(株)フジキン、(株)フジクラ、古野電気(株)、(株)ポリゴン・ピクチュアズ、
ホルベイン工業(株)、三菱電機(株)、(株)メガチップス、ユーロフィン NDSC F&E(株)、ライトケミカ
ル工業(株)、(株)ラック、(株)リクルート R&Dスタッフィング、
利昌工業(株)、(株)麗光、和歌山精化工業(株)

× _ □ ≡ ≡ ≡ ご案内 ≡ ≡ ≡

住所等連絡先、勤務先、氏名の変更 ありましたら、
「同窓会ホームページ」→「連絡先変更」から、
ご連絡ください。

システム工学部 同窓会ホームページ
▶ <https://www.wadaisys-dousou.net/>

× _ □ ≡ ≡ ≡ 連絡先 ≡ ≡ ≡

和歌山大学システム工学部 システム工学部同窓会

〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930

TEL 073-457-8021

E-mail alumni.sys@g.wakayama-u.jp

URL <https://www.wadaisys-dousou.net/>

× _ □ ≡ ≡ ≡ 編集 ≡ ≡ ≡

和歌山大学システム工学部 システム工学部同窓会
和歌山大学 研究・社会連携課 技術支援係

